

平成16年5月24日
中国電力株式会社

PETセンター構想について

当社では、「地域の発展に貢献します」を経営理念の一つとして掲げ各種事業を展開しているところですが、このたび、医療分野における地域への貢献を目的として、当社中電病院に、癌の早期診断を可能にする陽電子断層撮影装置「PET」(Positron Emission Tomography)を導入することといたしました。

現在、広島県内にはPETを設置している病院がなく、癌の早期診断をする場合には、既に導入した他県の病院で、受診しているのが現状です。このため、県内をはじめ隣県の病院には、近隣のPET診断に対する強いニーズがありました。

今回、当院は、PETセンターを設立し、癌の早期診断に活用してまいります。が、当院のみならず、広く地域の病院にもご利用いただきたいと考えております。

また、将来的には、当院と広島大学病院など県内基幹病院間を光ケーブルで接続することにより、地域における画像集中管理の役割を果たす共同利用型検診センターを目指してまいりたいと考えており、今後、各病院に対して病院間連携を積極的に働きかけてまいります。

1. PETの概要

PET検診は、癌細胞が正常細胞に比べて6～8倍の勢いでブドウ糖を摂取する特性を利用したもので、ブドウ糖に似た放射性同位元素を含む薬剤を静脈注射します。20～30分経過して全身に薬剤が行き渡ったところで画像(三次元の断層写真)を映し、5mm～数cm程度の大きさまでの腫瘍を、極めて高い確率で発見するものです。

従来の磁気共鳴診断装置(MRI)などでは特定の部位しか診断できず、しかも良悪性の鑑別が難しい状況でしたが、PETでは30分程度で全身を一度に診ることができるとともに、細胞が薬剤を摂取する状態の違いにより、良悪性を容易に鑑別できます。

なお、今回当院で導入する装置は、CTスキャンと一体化したもので、より正確に癌細胞を発見することができます。

2. PET設置台数 PETとCTスキャンの一体装置 3台程度
(寸法:W 2.0m×D 2.4m×H 2.1m, 重量:4.5t)
3. 設置場所 中電病院構内(広島市中区大手町3丁目4-27)
4. 設置時期 平成17年度末(目途)

以上

<参考資料>

1. 今回設置するPETとCTスキャン一体装置



(イメージ写真)

2. 中電病院の概要

- 院長 岩森 洋
- 診療科目 内科, 小児科, 外科, 整形外科, 産婦人科, 皮膚科, 泌尿器科, 眼科, 耳鼻咽喉科, 麻酔科, 歯科, 放射線科, 臨床検査科, リハビリテーション科, 検診センター
- 病床数 252床
- 設立 昭和24年 中国配電株式会社の企業病院「中配病院」として設立。
昭和29年 「中電病院」と名称変更。